



# 自主 協同 創造



生徒数	322名
1年生	111名
2年生	112名
3年生	99名

## 令和5年度がスタートしました

木々もすっかり芽吹き、校庭には色とりどりの花が咲きそろった4月7日（金）、新しい学期がはじまりました。

生徒たちは、新しい学年、新しい学級、新しい先生、新しい友達に出会い希望に胸をふくらませていることでしょう。

私たち教職員も、気持ちも新たに子どもたちと頑張ってまいります。

本年度も、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 赴任式・1学期始業式

4月7日（金）に、赴任式と1学期始業式を実施しました。赴任式では、赴任者代表の先生の挨拶のあと、生徒を代表して生徒会長が、歓迎の言葉を伝えました。

始業式では、各学年の代表生徒と生徒会副会長が、「一学期の抱負」を発表しました。また、校長先生からは、「つながる」をテーマにお話がありました。学校では、生徒と生徒、生徒と教師、家庭や地域など様々な「つながり」があります。そのつながりを大切にするために、「相手を思いやる」、「相手を理解する」ことを大切にして、学校生活を送りましょう。



## 転出された先生方

氏名	在籍	転出先
井手 栄治 先生	6年	久山町立久山中学校
山口 神奈 先生	2年	宇美町立宇美南中学校
錦 宗一郎 先生	3年	宇美町立宇美中学校
安藤 麻優子 先生	3年	退職
小河 正樹 先生	1年	志免町立志免中学校
佐伯 春恵 先生	1年	須恵町立須恵東中学校
佐藤 功一 先生	1年	福岡大学
河原 敦志 先生	2年	退職

## 新たに転入された先生

氏名	教科	前任校等
皿良 祐子 先生	家庭	宇美町立宇美中学校
清島 典子 先生	数学	粕屋町立粕屋中学校
谷 雄介 先生	社会	須恵町立須恵中学校
豊福 千恵 先生	美術	うきは市立吉井中学校
吉田 遥 先生	国語	新規採用
大賀 真実 先生	数学	新規採用
山口 真優菜 先生	保体	新規採用
栗田 亜彩斗 先生	数学	新規採用
天本 和也 先生	保体	福岡大学附属大濠高等学校
山口 耀平 先生	保体	新規採用

### <本年度お世話になる支援員の先生方>

- 特別支援教育支援員 轟木 幸子 先生
- 学習支援員 橋本 美和子・山田 寛子 先生
- スクールサポートスタッフ 鎌本 裕子 先生

## 第38回入学式

4月12日（水）に、安川町長をはじめ、吉村教育委員、町議会議員の皆さま、宇美東・桜原小学校の校長先生等、37名のご来賓臨席のもと、111名の新入生が入学しました。

式辞のなかで校長先生は、宇美東中学校の校訓である「自主」「協同」「創造」を紹介し、学校生活を通して、社会で生きていくための力を身につけ、充実した学校生活を送ってほしいと話されました。また、生徒一人ひとりが夢や目標を達成できるように、良い環境を創ることを意識して、学級、学年、学校を創っていくように頑張ってもらいたいと話されました。

式終了後は、教室で初めての学活を行いました。新入生代表生徒の「誓いの言葉」の一部を紹介します。

・・・中学生になって大きく二つ頑張りたいことがあります。

まず、一つは学習です。中学校では算数が数学に変わって難しくなるので、今まで以上に学習に向き合っていきたいです。

二つは、多くの人と関わり、友達をたくさんつくることです。小学校が違う人もこれからは同じ学校になるので、いろいろな人とたくさん交流し、たくさんの人と関わりをもち、友達をつくっていききたいです。

そのほかにも、部活動や小学校ではなかった活動が増えるので、その一つ一つを一生懸命頑張っていきます。

先生方、上級生の皆さま、宇美東中学校の生徒として頑張っていきますので、温かい目で見守っていただき、ご指導していただきますようお願い申し上げます。

新入生代表



## いじめの問題について

いじめは法律で以下のように定義されています。

当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

ここで、注目していただきたいのは、影響を与えるということと、心身の苦痛を感じているということです。「一方的に」とか、「攻撃を継続的に」とか、「深刻な」などという言葉は使われていません。相手が心身の苦痛を感じれば叩いてなくても、言わなくてもいじめになります。冷やかす、失敗を笑う、からかう、わざとぶつかる、遊ぶふりをして叩く、嫌なことをさせる、はやしたてる、持ち物をとる・隠す、「きもい」「うざい」を使う、嘘の情報を教える、パソコン・スマホで悪口を書く、など、これらの行為は、すべていじめです。

文部科学省の調査では、令和3年度のいじめの認知件数は全国で97,937件です。全国の1000人当たりの認知件数は30.0人となっています。特に、SNSなどインターネットに起因するいじめの認知件数が、年々増加しています。「いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうる」と言われています。本校は、いじめの問題については、積極的に認知していくという方針で取り組んでいます。子どもたちが、いじめと認識するには、保護者の皆さまのご理解が必要です。「このくらい子どもなんだから」「よくあることだ」などのような捉えでは、自分の起こした行為を振り返ることができません。相手の立場に立って考えるよう、ご家庭でもお声掛けをお願いいたします。

本校の「いじめ問題総合対策計画」を本日も配布いたしております。ご家庭でご一読いただくとともに、いじめの問題へのご理解・ご協力をお願いいたします。